

資料

I 学校生活管理指導表

現在、使用されている学校生活管理指導表は、平成10年度に告示された新学習指導要領（義務教育諸学校は平成14年度、高等学校は平成15年度から完全実施）の実施と従来の心臓病管理指導表の使用上の問題点を踏まえ改訂された。平成14年度から使用されており、指導や管理を行っている。

本書においては、事例の掲載、グラフ及び表中では、心臓病管理指導表の管理区分を用いている。

学校生活管理指導表の利用について

学校生活管理指導表は、心臓病管理指導表及び腎臓病管理指導表の区別をすることなく、また、あらゆる疾患に用いられる。

| 指導区分 | 基本的な考え方 |
|------|-----------------------------|
| A | 在宅医療・入院が必要 |
| B | 登校はできるが運動は不可 |
| C | 「同年齢の平均的児童生徒にとって軽い運動」には参加可 |
| D | 「同年齢の平均的児童生徒にとって中等度運動」まで参加可 |
| E | 「同年齢の平均的児童生徒にとって強い運動」にも参加可 |
| 管理不要 | 運動制限は不要であり、かつ経過観察も不要 |

指導する際の考え方は、心臓病管理指導表の区分と同様でよい。また、運動強度は、子ども本人の基準によるものではなく、上記の基本的な考え方に沿って決定し、運動強度の定義については、下記のとおりとする。

| 運動強度 | 定義 |
|--------|--|
| 軽い運動 | ほとんど息が弾まない程度の運動 球技では原則としてフットワークを伴わないもの 等尺運動は含まれない。 |
| 中等度の運動 | 息が弾むが、息苦しさを感ぜない程度の運動 パートナーがいれば楽に会話ができる程度 原則として身体の強い接触を伴わないもの 等尺運動は「強い運動」程の力を込めて行わない |
| 強い運動 | 息が弾み息苦しさも感じる程度の運動 等尺運動の場合は、動作時に歯を食いしばったり 大きな掛け声を伴ったり、動作中及び動作後に、 顔面の紅潮、呼吸促迫を伴う程度の運動 |

運動会、競技大会、スポーツテスト等、行事そのものへの参加の可否を考慮するものではなく、運動種目や取組方について、区分に準じて配慮すべきである。

遠足、宿泊学習等、管理指導表中に取組方や項目の例示がないものについては、その行事や活動が、同年齢の平均的子どもにとって、どの区分に当てはまるかによって、参加の可否について決定するよう、学校生活管理指導表を有効に活用することが望まれる。

学校生活管理指導表は、様々な疾患やハンディキャップをもつ子どもの活動に伴う危険や事故を未然に防ぐことのみならず、自身のQOLを最大に発揮させるために、広く活用を望むものである。

* 幼児用生活管理指導表については、小学校、中学校及び高等学校のように、運動種目やその取組について、詳細に設定されていないこと、多くの幼稚園、保育所において、自由保育が実施され、必ずしも一律に運動的保育の実施がなされていないため、本書中に掲載はない。

指導の原則については、上記指導区分に準じるものとしている。

学校生活管理指導表 (小学生用)

氏名 _____ 男・女

小学校 年 組

①医師名(病児名)

②指導区分

③運動クラブ活動

④次回受診

医療機関

要管理：A・B・C・D・E
管理不要

() クラブ () 年 () か月後
可(但し、)・禁 または異常があるとき

医師 _____ 印

| 体育活動 | 運動強度 | | 【指導区分：A…在宅医療・入院が必要 B…登校はできるが運動は不可 C…軽い運動は可 D…中等度の運動も可 E…強い運動も可】 | |
|------------------|-------------------------------|---|---|---|
| | 1・2・3・4年 | 5・6年 | 1・2・3・4年 | 5・6年 |
| 用具を操作する運動遊び(運動) | 長なわでの木波・小波・くぐり抜け、二人組での輪の転がし合い | 体の調子を整える手軽な運動、簡易な運動(ストレンヂングを含む)、軽いウォーカーキング | 短なわでの回跳び・空遊跳び、輪(投擲)、竹馬乗り、一輪車乗り | リズムに合わせての体操、ボール・輪・棒を使った体操 |
| 力強い運動遊び(運動) | 走・跳の運動遊び(運動) | 立ち幅跳び | かけっこ、簡単な折り返しリレー、ケンパ・跳び遊び | 短い助走での走り幅跳び |
| 体づくり運動 | いろいろな歩き方、スキップ、立ち幅跳び、ゴム跳び遊び | いろいろな歩き方、スキップ、立ち幅跳び | かけっこ、簡単な折り返しリレー、ケンパ・跳び遊び | 短い助走での走り幅跳び |
| 体ほぐしの運動・体力を高める運動 | 走・跳の運動遊び(運動) | 立ち幅跳び | かけっこ、簡単な折り返しリレー、ケンパ・跳び遊び | 短い助走での走り幅跳び |
| 陸上運動 | 走・跳の運動遊び(運動) | 立ち幅跳び | かけっこ、簡単な折り返しリレー、ケンパ・跳び遊び | 短い助走での走り幅跳び |
| ボールゲーム | ボールゲーム | キャッチボール | キャッチボール | キャッチボール |
| バスケットボール(型ゲーム) | バスケットボール(型ゲーム) | バス、ドリブル、シュート | バス、ドリブル、シュート | バス、ドリブル、シュート |
| サッカー(型ゲーム) | サッカー(型ゲーム) | 投げ方、打ち方、振り方 | 投げ方、打ち方、振り方 | 投げ方、打ち方、振り方 |
| ベニスボール型ゲーム | ベニスボール型ゲーム | パス、レシーブ、サーブ | パス、レシーブ、サーブ | パス、レシーブ、サーブ |
| ソフトボール | ソフトボール | 1・2・3年 | 1・2・3年 | 1・2・3年 |
| ソフトベースボール | ソフトベースボール | 4・5・6年 | 4・5・6年 | 4・5・6年 |
| 固定施設 | 固定施設 | ジャンクルジム | ジャンクルジム | ジャンクルジム |
| 平均台 | 平均台 | 平均台を使つての歩行・ポーズ | 平均台を使つての歩行・ポーズ | 平均台を使つての歩行・ポーズ |
| マット | マット | ころがり(縦・前・後) | ころがり(縦・前・後) | ころがり(縦・前・後) |
| 鉄棒 | 鉄棒 | 鉄棒を使つてぶらさがり振り | 鉄棒を使つてぶらさがり振り | 鉄棒を使つてぶらさがり振り |
| 跳び箱 | 跳び箱 | 支持でまたぎ乗り・またぎ下り | 支持でまたぎ乗り・またぎ下り | 支持でまたぎ乗り・またぎ下り |
| 水遊び・浮く・泳ぐ運動 | 水遊び・浮く・泳ぐ運動 | 水遊び(シャワー)、水中での電車ごっこ、水中ジャンケン | 水遊び(シャワー)、水中での電車ごっこ、水中ジャンケン | 水遊び(シャワー)、水中での電車ごっこ、水中ジャンケン |
| 水泳 | 水泳 | 水遊び(シャワー)、水中での電車ごっこ、水中ジャンケン | 水遊び(シャワー)、水中での電車ごっこ、水中ジャンケン | 水遊び(シャワー)、水中での電車ごっこ、水中ジャンケン |
| 鬼遊び | 鬼遊び | 1・2年 | 1・2年 | 1・2年 |
| 表現リズム遊び | 表現リズム遊び | まねっこ、リズム遊び、即興表現、ステップ | まねっこ、リズム遊び、即興表現、ステップ | まねっこ、リズム遊び、即興表現、ステップ |
| 表現運動 | 表現運動 | まねっこ、リズム遊び、即興表現、ステップ | まねっこ、リズム遊び、即興表現、ステップ | まねっこ、リズム遊び、即興表現、ステップ |
| 雪遊び、氷上遊び、スケート | 雪遊び、氷上遊び | 雪遊び、氷上遊び | 雪遊び、氷上遊び | 雪遊び、氷上遊び |
| 水辺活動 | 水辺活動 | 雪遊び、氷上遊び | 雪遊び、氷上遊び | 雪遊び、氷上遊び |
| 文化活動 | 文化活動 | 体力の必要な長時間の活動を除く文化的活動 | 体力の必要な長時間の活動を除く文化的活動 | 体力の必要な長時間の活動を除く文化的活動 |
| 学校行事、その他の活動 | 学校行事、その他の活動 | ▼運動会、体育祭、球技大会、スポーツフェスタなどは上記の運動強度に準ずる。 ▼指導区分"E"以外の児童の遠足、宿泊学習、修学旅行、林間学習、臨海学校などへの参加については別冊な場合は学校医・主治医と相談する。 | ▼運動会、体育祭、球技大会、スポーツフェスタなどは上記の運動強度に準ずる。 ▼指導区分"E"以外の児童の遠足、宿泊学習、修学旅行、林間学習、臨海学校などへの参加については別冊な場合は学校医・主治医と相談する。 | ▼運動会、体育祭、球技大会、スポーツフェスタなどは上記の運動強度に準ずる。 ▼指導区分"E"以外の児童の遠足、宿泊学習、修学旅行、林間学習、臨海学校などへの参加については別冊な場合は学校医・主治医と相談する。 |

| 強い運動(Eのみ"可") | 1・2・3・4年 | 5・6年 |
|--|--|--|
| 長なわ(連続回跳び)、短なわ(組み合わせた連続跳び)、引き合(押し合)い、手巾、かつぎ、合い、シャトルランテスト | 長なわ(連続回跳び)、短なわ(組み合わせた連続跳び)、引き合(押し合)い、手巾、かつぎ、合い、シャトルランテスト | 長なわ(連続回跳び)、短なわ(組み合わせた連続跳び)、引き合(押し合)い、手巾、かつぎ、合い、シャトルランテスト |
| 全力を使つてのかけっこ、バトンパスリレー、ハードル走(小型ハードル)、かけ足、幅跳び、高跳び | 全力を使つてのかけっこ、バトンパスリレー、ハードル走(小型ハードル)、かけ足、幅跳び、高跳び | 全力を使つてのかけっこ、バトンパスリレー、ハードル走(小型ハードル)、かけ足、幅跳び、高跳び |
| ゲーム(試合)形式 | ゲーム(試合)形式 | ゲーム(試合)形式 |
| 演技、連続的な技 | 演技、連続的な技 | 演技、連続的な技 |
| 転がりの連続 | 転がりの連続 | 転がりの連続 |
| 片膝かけ回りの連続 | 片膝かけ回りの連続 | 片膝かけ回りの連続 |
| 幅跳び、跳び、支持でのかけっこ | 幅跳び、跳び、支持でのかけっこ | 幅跳び、跳び、支持でのかけっこ |
| 呼吸しながら長い距離でのクロール・平泳ぎ | 呼吸しながら長い距離でのクロール・平泳ぎ | 呼吸しながら長い距離でのクロール・平泳ぎ |
| 1・2年 | 1・2年 | 1・2年 |
| 3・4・5・6年 | 3・4・5・6年 | 3・4・5・6年 |
| ボール運び | ボール運び | ボール運び |
| リズムダンス(ロックやサンバ)、作品発表 | リズムダンス(ロックやサンバ)、作品発表 | リズムダンス(ロックやサンバ)、作品発表 |
| スキー・スケートの滑走など | スキー・スケートの滑走など | スキー・スケートの滑走など |
| マーチングバンドなど体力を相当使う文化的活動 | マーチングバンドなど体力を相当使う文化的活動 | マーチングバンドなど体力を相当使う文化的活動 |

学校生活管理指導表

中学・高校生用

平成 年 月 日

学校生活管理指導表 (中学・高校生用)

(平成14年度版)

氏名 _____ 男・女 _____ 年 _____ 月 _____ 日生 (才) _____ 年 _____ 月 _____ 日 高等学校 _____ 年 _____ 月 _____ 日 中学校 _____ 年 _____ 月 _____ 日

①診断名(所見名) _____

②指導区分
要管理：A・B・C・D・E _____
管理不要 _____

③運動節活動
可(但し、)・禁 _____
または異常があるとき _____

④次回受診 _____

医療機関 _____

医師 _____ 印 _____

| 体育活動 | 【指導区分： A…在宅医療・入院が必要 B…登校はできるが運動は不可 C…軽い運動は可 D…中等度の運動も可 E…強い運動も可】 | | |
|-------------|--|---|--------------------------------|
| | 軽い運動 (C・D・Eは“可”) | 中等度の運動 (D・Eは“可”) | 強い運動 (Eのみ“可”) |
| 体づくり運動 | いろいろな手帳な運動、リズムカルな運動、基本的運動(運動遊び)(投げる、打つ、蹴る、跳ぶ) | 体の柔らかさ及び巧みな動きを高める運動、力強い動きを高める運動、動きを継続する能力を高める運動 | 最大限の持久運動、最大限のスピードでの運動、最大筋力での運動 |
| 器械運動 | 体操運動、簡単なマット運動、バランス運動、簡単な跳躍、回転系の技 | 簡単な技の練習、ランニングからの支持、ジャンプ、回転系などの技 | 演技、競技会、連続的な技 |
| 陸上競技 | 立ち幅跳び、負荷の少ない投ぎ、基本動作、軽いジャンピング | ジョギング、短い助走での跳躍 | 長距離走、短距離走の競走、競技、タイムレース |
| 水泳 | 水慣れ、浮く、伏し泳ぎ、け伸びなど | ゆっくりな泳ぎ | 競泳、競技、タイムレース、飛び込み |
| バスケットボール | パス、シュート、ドリブル | ドリブルシュート、連携プレー(攻撃・防御) | ゴールキーピング |
| ハンドボール | パス、シュート、ドリブル | ドリブルシュート、連携プレー(攻撃・防御) | ゴールキーピング |
| バレーボール | パス、サーブ、レシーブ、フォロイング | スパイク、ブロック、連携プレー(攻撃・防御) | ゴールキーピング、タックル |
| サッカー | ドリブル、シュート、リフティング、パス、グラウンドストローク、サーブ、ロビング、ボレー、サーブ、レシーブ | ドリブル、ヘディングシュート、ボレーシュート、連携プレー(攻撃・防御) | ゴールキーピング、タックル |
| テニス | バックハンド、サーブ、レシーブ | スマッシュ、力強いサーブ、レシーブ、乱打 | ラック、モール、スクラム、ラインアウト、タックル |
| ラグビー | パス、キック、ハンドリング | パス、キック、ハンドリング | ラック、モール、スクラム、ラインアウト、タックル |
| 卓球 | フォア・バックハンド、サーブ、レシーブ | フォア・バックハンド、サーブ、レシーブ | ラック、モール、スクラム、ラインアウト、タックル |
| バドミントン | サーブ、レシーブ、フライト | ハイリアリ、ドロップ、ドライブ、スマッシュ | ラック、モール、スクラム、ラインアウト、タックル |
| ソフトボール | スローイング、キャッチング、バッティング | 走塁、連携プレー、ランニングキャッチ | ラック、モール、スクラム、ラインアウト、タックル |
| 野球 | 投球、捕球、打擊 | 走塁、連携プレー、ランニングキャッチ | ラック、モール、スクラム、ラインアウト、タックル |
| ゴルフ | グリップ、スイング、スタンス | 簡易ゴルフ(グラウンドゴルフなど) | ラック、モール、スクラム、ラインアウト、タックル |
| 武道 | 柔道、剣道、相撲、弓道、なぎなた、レスリング | 簡単な技、形の練習 | ラック、モール、スクラム、ラインアウト、タックル |
| ダンス | 創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンス | リズムカバレッジを伴うダンス(ロックやサンバを除く)、日本の民謡の踊りなど | ラック、モール、スクラム、ラインアウト、タックル |
| 野外活動 | 雪遊び、水遊び、登山、遠泳、水辺活動 | スキー、スケートの歩行やゆっくりな滑走 | ラック、モール、スクラム、ラインアウト、タックル |
| 文化的活動 | 体力が必要な長時間の活動を除く文化的活動 | 右の強い活動を除くほとんどの文化的活動 | ラック、モール、スクラム、ラインアウト、タックル |
| 学校行事、その他の活動 | ▼体育祭、運動会、競技大会、スポーツフェスタなどは上記の運動強度に準ずる。 ▼指導区分“E”以外の生徒の満足、林間学校、臨海学校、宿泊学習などへの参加については不明な場合は学校医・主治医と相談する。 | | ラック、モール、スクラム、ラインアウト、タックル |

Ⅱ 独立行政法人日本スポーツ振興センターにおける突然死の取扱い

突然死の運用基準—突然死（sudden death）について—

1 突然死の意義

突然死とは、突然で予期されなかった病死をいう。

「病死」であることから、運動中、競技中などに起きた脊髄損傷、頭部外傷による死亡、溺死、交通事故などの外因（事故）死については、突然死とはされない。

2 突然死の時間的経過

通常は、発症から24時間以内に死亡したものとするが、救急医療の進歩もあり、意識不明等のまま、発症から相当期間を経て死亡に至ったものを含ませえるものである。

3 災害共済給付上の突然死及び突然死に準ずるものの取扱い

災害共済給付上の「突然死」は、その顕著な徴候（突然死に至る最初の発症。突然うずくまって倒れ動かなくなったというような顕著な前ぶれ、きざし等）が、学校の管理下において発生したものをいう。

(1) 突然死は、次の2つに分けられる。

① 運動などの行為が直接起因となって発生するもの

外部衝撃、急激な運動若しくは相当の運動量を伴う又は心身の負担の累積に起因することが明らかであると認められる疾病に直接起因する死亡

② 運動などの行為と関連なく発生するもの

歩行中、座学中、就寝中などに起こったもので、「外部衝撃、急激な運動若しくは相当の運動量を伴う運動又は心身の負担の累積に起因することが明らかであると認められる疾病に直接起因する死亡」以外のもの

(2) 突然死に準ずるもの

心臓系疾患や中枢神経系疾患以外の「進行性筋ジストロフィー」や「慢性気管支ぜんそく」などの疾病をもつ者が、給食等を摂取中にその病態の一つとして飲食物を気管内に吸引したり、ぜんそくの重積発作状態に陥り、そのことが主たる原因で死亡した場合は、突然死の運動などの行為と関連なしに発生したものに準ずるものとして扱う。

(3) 突然死の死因

① 心臓系疾患による突然死

急性心機能不全（心臓麻痺）、急性心不全、急性心停止、心筋梗塞、狭心症、心室細動、心筋炎、急性循環不全その他

② 中枢神経系疾患による突然死

特別な外因が見当たらない頭蓋内出血（運動、競技中、入水中のものも含まれる。）、クモ膜下出血、脳梗塞、脳静脈洞血栓症その他

③ 血管系その他の突然死

乳幼児突然死症候群、急性呼吸不全その他

(4) 突然死及び突然死に準ずるものの見舞金の扱い

① 運動などの行為が、直接起因となって発生した突然死の場合2,800万円

② 運動などの行為と関連なしに発生した場合1,400万円

※ なお、登下校中のものは、すべて1,400万円である。